

## 子どもとの意見交換について

### 意見交換先

- ・北海道朝鮮初中高級学校（実施日：平成 22 年 7 月 9 日）・・・・・・・・・・ 1
- ・札幌市立北九条小学校（実施日：平成 22 年 7 月 21 日）・・・・・・・・・・ 2
- ・北海道札幌平岸高等学校（実施日：平成 22 年 7 月 21 日）・・・・・・・・・・ 3
- ・平成 21 年度札幌市子ども議会子ども議員（実施日：平成 22 年 8 月 2 日、4 日）  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・札幌市立琴似中学校（特別支援学級の教諭）（実施日：平成 22 年 8 月 9 日）・・・・ 6
- ・札幌市立福住小学校（実施予定日：平成 22 年 8 月 24 日）

## 1 意見交換先

北海道朝鮮初中高級学校

日時：平成 22 年 7 月 9 日（金）15：30～16：30 同校にて実施

出席者：同校生徒 10 名、同校教諭 1 名、子どもの権利委員 1 名、子ども未来局職員 3 名

## 2 概要

### (1) 子どもの権利について

- ・勉強をすることや、助けてと言えること。
- ・自分たちは国籍による差別を受けていると感じる。
- ・歴史を学ぶことで意識が変わることも多いと思うので、理解をしてもらいたい。
- ・自分たちのことを知ってもらいたいし、教えていくのも自分たちの役目だと思う。
- ・歴史などが分かっていないせいか、比較的若い世代の方が、からかったりする。

### (2) 学校や地域での活動について

- ・学校のある地域では存在が認められつつあるが、学校を離れ、地域に入るとマイノリティの立場となり主体的に地域と関わるのは難しい。
- ・学校が終わった後、小学校高学年からはクラブ活動があり、忙しい。(教諭)
- ・学校祭などで自主的な催しを行っており、作業やお互いの意見の折りあいをつけるのが大変だが、達成感はある。

### (3) 札幌市のまちづくりについて

- ・子どもの権利が保障されるため自分たちの存在を知ってもらいたいし、そのことが子どもの権利につながる。
- ・日本の学校との交流会や、違う国や民族の文化を知ることができる、まちづくりをしてもらいたい。
- ・日本の学生と朝鮮の学生がふれあいをもち、壁を作らないでもらいたい。
- ・日本人にも歴史のことを学んでほしい。朝鮮人らしく生きたいので、差別をしないでほしい。

## 1 意見交換先

札幌市立北九条小学校

日時：平成22年7月21日（水）15：40～16：40 同校にて実施

出席者：同校生徒13名、子どもの権利委員1名、子ども未来局職員2名、教育委員会職員1名

## 2 概要

### (1) 子どもの権利について

- ・意見を発表することについて、自分の考えがあっても、周りから間違いを指摘されたり、批判されたりするのはと心配して、意見を言いにくいとすることがある。
- ・いじめや、外国人に対する差別がなく、みんなが安心して生活できることが大切だが、実際には守られていない。
- ・外国の子どもに対して、差別せず、日本人と同じように普通に接するようにしている。
- ・自転車の運転やタバコのポイ捨てなど、マナーの悪い大人がいる。大人も子どももマナーやルールを守り、みんなが安心して生活できるようにしてほしい。
- ・大人から「お前」と呼ばれる、親から兄弟姉妹と比較されると嫌な気分になる。
- ・安心して生きる権利について、不安や恐れを感じた時でも、だれか自分を守ってくれる人がいると思う。
- ・自分らしく生きる権利について、周囲を気にして「自分らしさ」を出せないこともある。
- ・学校の成績など秘密が他人に知られると嫌な思いをするので、プライバシーが守られるようにしてほしい。
- ・学校の問題点について投書する意見ボックスがあり、その中からテーマを選んで解決策などについて議論をしている。

### (2) 21の権利に関して挙手または聞き取りを実施

- ・「子どもに関する実態・意識調査」で「守られていない」と回答した割合の高い上位5つの権利について、多くの子どもが、守られていないと回答
  - ア 命が守られ、平和と安全のもとに暮らすこと
  - イ いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること
  - ウ 障がい、民族、国籍、性別その他の子ども又はその家族の状況を理由としたあらゆる差別及び不当な不利益を受けないこと。
  - エ 個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること
  - オ プライバシーが守られること
- ・次の権利については、今回の意見交換会では、子ども全員が守られていると回答した。
  - ア 愛情を持ってはぐくまれること
  - イ 気軽に相談し、適切な支援を受けること
  - ウ かけがえのない自分を大切にすること

## 1 意見交換先

北海道札幌平岸高等学校

日時：平成 22 年 7 月 21 日（水）15：45～16：45 同校にて実施

出席者：同校生徒 9 名、同校教諭 2 名、子どもの権利委員 3 名、子ども未来局職員 1 名

## 2 概要

### (1) 子どもの権利について

- ・いじめや虐待は子どもから大事な居場所を奪うので、子どもが守られる計画を作ってほしい。
- ・他人と違うということを理由にいじめを受けることもあるため、条例で規定する「個性や他人との違いを認められる」ことは大事である。
- ・条例 12 条に関して、親子のコミュニケーション不足が問題となっている。保護者は子どものささいな変化などに気づいてほしい。
- ・子どもが自分の権利を主張できる機会は少ないので、そのような場があるとよい。

### (2) 学校運営への参加について

#### 【三者会議について】

- ・先生の決めたルールではなく、三者（自分たち）で決めたルールだから「守ろう」という気持ちが生まれる。
- ・始まるまでは生徒側の意見を絶対に通したいという思いが強かったが、会議が始まると、保護者や学校（教師）の意見にも共感できる部分があり、自分達の意見のみを主張すべきではないと感じた。保護者からは、予想していなかった意見もでて意外だった。意見をまとめるために、クラスの話し合いを集約していく過程が、困難であったがやりがいも感じた。

#### 【生徒活動について】

- ・学校祭などいろいろなイベントの企画運営を仲間と協力して行うこと、自分の意見を主張できる場所があること、自分を認めてもらえる場所があることが魅力である。
- ・意見は持っているが言うのは嫌だという生徒もいる。小規模な話し合いの場があるとよい。
- ・入った当初は意見を人前で話すことが苦手だったが、徐々に慣れ、自信がついてきた。

### (3) 札幌市のまちづくりについて

- ・ゴミの「ポイ捨て」や歩きタバコなどがなく、緑が豊かで自然があふれるまちになってほしい。
- ・ちょっとした感謝の気持ちを伝えることができる社会になってほしい。
- ・外で遊べる環境が少ないので、子どもの集まれる場所（公園など）を増やしてほしい。

## 1 意見交換先

平成21年度札幌市子ども議会子ども議員

日時：平成22年8月2日（月）・4日（水）の2日間 9：30～15：30

出席者：子ども議員16名（1日目14名、2日目12名）※希望者を文書で応募

子どもの権利委員2名、子ども未来局職員3名、

## 2 概要

### （1）子どもの参加について

- ・実際に参加しているのは、町内会のお祭り、児童会館の行事、ボランティア活動、子ども議会など。
- ・参加したきっかけは、先生や保護者など周りの大人に勧められて参加したほか、広報物（パンフレット、広報さっぽろ、回覧版）を見て面白そうだったから。
- ・参加しない理由は、「つまらなそう」「話し合いばかり」「興味がない」など、自分の興味のあることしかやらない子どもが多い。
- ・子どもの参加を進めるには、まずは回覧板・新聞広告、口コミ、メール、ブログなど、きっかけをつくり、子どもの興味をひくため、例えば実際の参加者の体験談を紹介、一年間の活動を掲載したものを作成するなど、内容を充実させることが重要。

### （2）安心して過ごせる居場所について

- ・安心できる場所は、家、学校、児童会館、図書館などであり、理由は、安心できる人がいる、腹を割って話せる・話の合う友だちがいる、相談できる人がいる、自分の世界を持てる、いつも過ごしているから落ち着くなど。
- ・安心できない場所は、家、学校など、理由は、兄弟と比較される、子ども扱いされる、勉強しろと言われる、うるさい、束縛されるなど。
- ・安心して過ごす居場所を作るためには、意見を言うことができる雰囲気づくりや他人の意見を否定しないなど、自分の意見が尊重されることが重要である。
- ・居場所ができると、色々な人と出会い、自分の好きなことや得意なことが見つかるので、いきいきとし、自分が成長できる。

### （3）子どもの権利侵害について

- ・子どもの権利とは、いじめ、虐待、差別を受けないことやプライバシーが守られ、自分の意見を言うこと。

- ・権利侵害が起こる要因は、子ども同士のいじめや差別であれば相手のことが気に入らない、人と違って目立っていたりするため。大人が子どもの権利を侵害する場合は、子どもは大人に従うのが当たり前だと思っている、子どもに権利侵害があることを知らないためなど。
- ・特にいじめは、自分がいじめられないために他の人はいじめたり、先生に報告するとよりいじめが増えるといった悪い連鎖が起きている。
- ・権利侵害を起こさないためには、いじめであればクラス全体で解決する、環境を変える、自分もだれかをいじめないこと。他には意見を言える場をつくる、個性の違いを受け入れる、相談機関や周りの大人に相談するなど。

#### (4) 子どもの権利の広報について

- ・パンフレットを見たことがあるのは半分くらい。配布されても内容が固そうで興味がわからない。
- ・パンフレットなどの広報物を見ていないので、子どもの権利について正しく理解をしていない、できないため、誤った内容で覚えてしまう。
- ・広報物を見るための解決策は、アニメ・マンガなど 15～20 分程度のDVDを作成し、親しみやすくする。(他の意見：学校祭で先生が演劇で発表、「間違い探し」「検定」「パンフレットに子どもの権利一口メモを入れる」、「学活の時間に使う」「授業の題材」「作文を書く」(賞品付き)ほか、市の広報誌などで大人に対しての広報も必要。)
- ・小学生低学年と高学年、中学生、高校生で内容や伝え方を変える。

## 【参考】

### 1 意見交換先

札幌市立琴似中学校

日時：平成 22 年 8 月 9 日（月）14：00～15：40 同校にて実施

出席者：同校特別支援学級教諭 1 名、子ども未来局職員 3 名

### 2 概要

#### （1）特別支援学級の子どもについて

- ・中学校から初めて特別支援学級に通うことになる生徒は、小学校時代の、他の子どもと自分を比較し、「自分はダメだ」と思う経験を積み重ねるなど精神的に傷ついている場合が多い。
- ・中学校から特別支援学級に通う場合、個々の子どもや比較的、中・軽度など障がいの程度によっては、通常学級の子どもに見られることを恥ずかしいと感じるなど、慣れるのに時間がかかる子どももいる。
- ・学校の中だけで通用するのではなく、社会の中で、より自由にできるだけ自分らしく生活していく力をつけていくためのさまざまな実践的な学習に取り組んでいる。
- ・通常学級から特別支援学級に対しての陰湿ないじめは少ないが、通常学級の中で、障がいの疑われる子に対して自分たちと違うということはいじめを受けていることはあるのではないかと感じる。
- ・通常学級と特別支援学級を分けることについては、区別をすることが差別につながるという意見もある一方で、特別支援学級で適切な学習の場を得ることで、子どもが持っている「成長する権利」や「子どもに合った教育を受ける権利」が守られるという面もある。個々の子どもの状況によっては、これらの権利は、通常学級では十分に実現することが難しい場合もあり、どちらが良いのかは非常に難しい問題であると感じる。

#### （2）通常学級との交流について

- ・中学校の場合、普段の交流はあまり多くはないが、学校・学年行事に参加しており、その他に委員会に参加している子どももいる。また、部活動に参加している子どももおり、特別支援学級の授業だけでは身に付かない精神的な成長や、社会性が身に付いていると感じる。
- ・ある 1 日だけの特別な取組ではなく、日々の活動を通して交流する機会が増えれば良いが、特別支援学級だけではなく、通常学級にもなかなか時間的なゆとりがないのが現状である。

# 子どもの参加について

## 参加している企画

### 現状

- 興味のあることだけしがない。
- ・親が言ったから参加する。

- 町内会の運動会、お祭り
- ・ボランティア活動
- ・子ども議会

子どもは興味あることしかやらないけど

全部が全部やってみたい訳ではない。

### 問題点

- ⇒ どのように広めていくか
- ・どのようなものならやってみたいか。

子どもやってみたら楽しかった!!

- アンケートをとる。
- ・参加者の体験談を載せる。
- ・活動終了後の楽しさを企画にモロこむ。
- ・一年間のボランティア活動が載っている『ボランティアカレンダー』を製作する。

◎ 広めるためには ◎

- ・回覧板
- ・口コミ
- ・新聞の広告
- ・メール
- ・ツイッター
- ・ブログ
- ・人を誘う
- ・キッカケづくり!!!



# 安心して過ごせる居場所

## 〈安んできる〉

- 場所
  - 図書館 … 静か、読書できる
  - 体育館 … さわげる
  - スーパー … (食糧とか) 見て楽しい
  - 学校 … 友達がいる
  - 家 … いつも過ごしているから、落ち着く

- 事、人
  - 音楽、読書(雑誌、マンガ)
  - インターネット 時計の針
  - 友達 ペット
  - 相談できる人(友達、親、部活の人)

## 〈安んできない〉

- 場所
  - コンサート
  - 塾
  - 学校

家 - 親、家族がいるから落ち着かない

- 事、人
  - 部活
  - 時計の針の音
  - 兄弟(姉妹) ⇒ うるさい
  - 両親 ⇒ 「勉強しなさい」とか言う

安心  
は、できる  
場所

## 〈安んできるとは…?〉

女子きなことができる ⇒ 時間がないから できない → 無駄を省く?

(好きなこと) → スポーツ(野球、バスケ、バドミントン) 音楽、ピアノ、読書、友達と遊ぶ

自分の意見が尊重される ⇒ 意見を言う場、空回り 機会がない?

意見も言える場を作る(アンケート、議会 など)、空回り作り

自分の意見を持つ

他人の意見も取り入れる → 否定しない、されない?

# 安心して居る場所について。

安心して居る場所

→ 児童会館 ・ 生徒会室 ・ 放送室 ・ クラス ・ 家 ・ 車の中

どうして落ち着くのか？

- ・ 自分の世界 ・ 友達と一緒に居る。
- ・ 安心して居る人が居る。守られている。安全、家族が居るから。
- ・ 自分の言いたい事を言える。自分の空間がある。
- ・ 腹を明けて話せる相手がいる。

なんで落ち着かないのか？

- ・ うるさい ・ 目障り？
- ・ シレッシャーがわかる。束縛される。

## 子どもが安心して居る場所作り

いじめられている人がいる場合...

- ・ 元気づける
- ・ 気付けてあげる
- ・ 近所の人や声をかけあげる



- ・ ボランティア参加をすすめてあげる。
- ・ 人生の先輩との話。
- ・ 貝(明) ・ スイッチング ・ フェット ・ 野菜の収穫
- ・ 年間を通して活動する企画

色々な人との出会い

自分がいきいきとしているとき

- ・ 周りから認められたとき
- ・ 友達と遊んでいるとき
- ・ 自分の好きなこと、得意なことをやる時
- ・ 大会で発表しているとき

自分が成長!!

- ・ 貝(明) ・ 音楽
- ・ 合唱コンクール...

# 子供の権利侵害について

## 子供の権利とは?

- いじめを受けない → 権利
- 虐待 → 普通な生活
- 暴力
- プライバシー → コミュニティ
- 白痴な意見も言える → 学校など
- 守られて過ごす

## <身近な体験>

- いじめ…仲間はずれ  
くつろぎのイタズラ  
悪口(陰口)
- 自分の意思を言えない  
→ 誰かに何を言われる  
(嫌われている人がどうする)
- チェーンメール  
→ 原因がわからず  
悪い噂を流す

結果的に  
- 転校  
- 自殺

## <なぜいじめは起きる?>

### いじめられる例

- 楽しいから
- クラスでの立場
- 自分がやられたくないから

### いじめられる例

- 人とちがうから
- 人の気持ちの分らないから
- その人に原因があるから

⇒ 小さなことでいじめに発展  
一人と集団でいじめ

## まとめ

### <いじめをなくすには?>

- やられる側で壁を上げろ
- クラス等を分けて環境を変えていく
- クラス全体で解決していく
- 友だち同士で解決していく
- いじめた人はムカついたが、自分たちも相談してイジメに発展させずに人間関係をよすべからず
- いじめられては自分も相談所に相談してみよう  
→ 自分自信の解決として
- 実態の把握を繰り返す

同じ人は…自分がやられたらヤザから  
正めに入れたい、注意できない

いじめられる → いじめ直す  
他の人をいじめる

→ 先生が入る(結局は意味がない)  
→ 子づつ!といじめが増す

# 子どもの権利侵害について!!

子ども同士の権利侵害に×  
(例) いじめ、差別、人と違うこと。

- 気に入らないから
- 目立つから

## 何故?

大人による子どもの権利侵害について  
(例) 虐待、差別、人権、体罰、セクハラ。

- ◎ 子どもが大人の言うことには聞き従う!
- ◎ 子どもに権利があるのを知らない。

子どもも大人も子どもに権利があることを知るべき!

## 権利侵害が起こらないために

- ・ 意見の言える場をつくる。
- ・ カウンセラーの人、身近な人に相談
- ・ 個性の違いを受け入れる。

(具体例) = 大人がバランス良く入り込み、  
子どもの個性を尊重する。

## もし起こってしまったら

- ◎ 助けたり、声かけ
- ◎ 手紙を書く

- ◎ 友達のところに行く。
- ◎ 自分の家に泊まらせてあげる
- ◎ 近所の人の声かけ

あなたが実践  
できない...

Stop!! No!!



子どもの居場所づくりが大切!!

# 子どもの権利の広報について。

## 現状

- 配付されても 見ない人が多い。(パンフレットは半分くらいの人しか見てない!)
- 興味が沸かない。
- 固そう。

見ているから、ちゃんとした理解をしないでもないので、間違えた内容を直して!!

## 解決策

- アニメ・マンガなどで親しめやすくする。(15~20分程度のものにする)
- 学校祭などで劇などにして楽しめる感じにする。
- あくまで容易に理解できる程度に細かくする。

♡~その他に出た意見~♡

- ◎ 模定 ◎ バリエーション ◎ 作文 (是品つと) ◎ 実写 ◎
- ◎ 授業 ◎ 市の広報などで大人にも知ってもらう。
- ◎ 年齢によって伝え方を変える。